

A 病院における悪性疾患を有する患者と非悪性疾患患者のインシデントの比較

◆研究の目的と概要◆

当院では、医療安全の向上を目的とし、医療安全報告データの分析を行っています。本研究では、悪性疾患を有する患者と非悪性疾患患者における医療安全インシデントの内容、発生場面、発生要因および影響度を比較し、その特徴および傾向の違いを明らかにすることを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2024 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの期間に、当院において医療安全報告がなされた患者さんのうち、18 歳以上の入院患者さんを対象としています。

なお、本研究では一般病棟において発生した事象を対象としており、集中治療室、手術センター、救急部門、外来、検査室および処置室など病棟以外で発生した事象は対象に含まれていません。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、入院情報、インシデントの内容、発生場所、影響度分類などの情報

◆研究方法◆

本研究は医療安全報告システムに蓄積されたデータを利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
看護管理部 研究責任者 高田 左代美

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)
(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明